

旭川医科大学名誉教授 故・海野 徳二氏らによる研究「鼻のかみ方」が
第36回イグ・ノーベル賞(医学賞)を受賞

本受賞は、本学名誉教授による研究成果が国際的に評価されたものと受け止めております。つきましては、多くの皆さまに広く知っていただけるよう報道いただけますようお願いいたします。

旭川医科大学名誉教授 故・海野徳二氏が若手研究者時代に携わった研究「鼻のかみ方(How to Blow the Nose)」が、このたび第36回イグ・ノーベル賞「医学賞」を受賞しました。

イグ・ノーベル賞は「まず人々を笑わせ、そして考えさせる」業績に贈られる国際的な賞として知られています。本研究は海野氏が和歌山県立医科大学在籍時に取り組んだものであり、「鼻のかみ方」という誰もが毎日行う動作を、誰も真剣に科学的に検討してこなかった視点で解明した点が高く評価され、今回の受賞につながりました。

なお、海野氏は2022年に逝去されているため、授賞式には本学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 高原 幹 教授が代理出席しました。

受賞概要等については下記のとおりです。

記

1.受賞概要

賞の名称	第36回イグ・ノーベル賞 医学賞 (36th First Annual Ig Nobel Prize in Medicine)
受賞者	故 海野徳二(うんの とくじ) 旭川医科大学 名誉教授・耳鼻咽喉科学講座 初代教授
受賞論文	「鼻のかみ方 - 擤鼻の気体動力学的研究 -」 How to Blow the Nose - An Aerodynamic Study of the Nose Blowing 日本耳鼻咽喉科学会会報 第80巻 第1号(1977年) DOI: https://doi.org/10.3950/jibiinkoka.80.11
共著者	矢島 洋(やじま ひろし) 和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科(論文発表当時)
授賞式	2026年9月3日(木)19:00～ ※ 日本時間では2026年9月4日(金)2:00～ Kongresshaus Zürich(スイス・チューリッヒ)
代理出席者	高原 幹(旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 第3代教授)

2. 受賞論文「鼻のかみ方」について

■ 研究の背景と目的

「鼻をかむ」という動作は誰もが行うものであるが、欧米人と日本人ではその習慣がかなり異なり、本当に正しくかめているのかという疑問が出発点である。本研究の目的は、鼻をかむ動作を空気力学的に正確に計測・分析し、正しいかみ方の指導に資することである。

■ 研究方法

14～48歳の男性15名を対象に、2台の気流測定器(ニューモタコメーター)を並列に配置し、左右それぞれの鼻孔から出る気流の速度・量・時間を繰り返し計測した。同時に外耳道の圧力変化も記録した。

■ 主な結果と結論

① 片側ずつかむのが正しい

左右の鼻腔は通りがやすさが異なる。通りがやすい側を指で押さえることで、通りにくい側に効率よく気流を通過させることができる。両側同時にかむと気流が分散され効果が下がる。

② 力を入れてかんでよい

「強いかむと耳に悪い」と思われがちだが、鼻をかむ際に耳管内に気流が生じることと中耳感染は別の問題である。流速が速いほど分泌物の排出効率は上がる。

③ かむ前に少し息を吸い、時間をかけてゆっくりかむ

吸いすぎると吐き出しにくくなるため、適度に吸ってから、呼気量が大きくなるよう時間をかけてかむのが効果的である。

④ 下気道の分泌物排泄にも効果がある

咳やくしゃみと同様に、正しい鼻のかみ方は気管支・下気道の分泌物排泄促進作用も持つことが示された。副鼻腔炎に合併した気管支炎などにも有効である。

3. 故 海野徳二教授 プロフィール

氏名	海野 徳二(うんの とくじ)
生没年	1933年3月生～2022年8月没 享年89歳
出身・学歴	千葉大学医学部卒業 同耳鼻咽喉科学教室にて研鑽 和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科学講座 助教授
旭川医大での経歴	1976年10月 旭川医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座 初代教授就任 1998年3月 定年退職 1998年4月 旭川医科大学名誉教授
専門・業績	呼吸生理学(上気道～下気道における正常呼吸・咳嗽・くしゃみ・発声の生理動態研究) 北海道医師会賞、北海道知事賞受賞 日本耳鼻咽喉科学会宿題報告「鼻呼吸障害の解析と機能回復」 多数の医学生・医師を育成し、現在の本学耳鼻咽喉科の礎を築いた

4. 代理受賞者 高原幹教授 プロフィール

氏名	高原 幹(たかはら みき)
役職	旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授(第3代) 旭川医科大学病院 感染制御部長
専門	病巣扁桃疾患・頭頸部癌免疫療法
海野教授との関係	海野教授は本講座の初代教授。高原教授は3代目教授として同じ講座を受け継ぐ。若手医師時代に海野教授の薫陶を受けた。
連絡先	旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 TEL:0166-68-2554 FAX:0166-68-2559 E-mail:miki@asahikawa-med.ac.jp

5. 論文共著者 矢島洋氏について

氏名	矢島 洋(やじま ひろし)
論文発表当時の所属	和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科学教室
備考	現在の連絡先等については確認できておりません。

【内容に関するお問合せ】

旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授 高原 幹

[TEL:0166-68-2554](tel:0166-68-2554)

E-mail: miki@asahikawa-med.ac.jp

【本プレスリリースに関するお問合せ】

旭川医科大学総務課広報・社会連携係

[TEL:0166-68-2118](tel:0166-68-2118)

E-mail: kouhou@asahikawa-med.ac.jp